

第1回 徳島市教育振興基本計画(第3期)策定委員会 議事録(要約)

と き：令和元年7月3日(水)

午後3時00分～午後4時10分

ところ：徳島市役所 8階 庁議室

開会	午後3時00分
事務局	開会あいさつ
教育長	あいさつ
各委員	自己紹介
事務局	徳島市職員出席者自己紹介 教育長退席 会長・副会長の選任
会長・副会長	あいさつ
会長	設置要綱第6条第1項の規定により議長に就任
会長	議題1「徳島市教育振興基本計画(第3期)の策定について」
事務局	会議資料を説明
会長	議題2「計画の骨子案について」
事務局	会議資料を説明
会長	第1回目の会議であり、これまでの説明に対する質問や計画に対する意見、各委員の教育に対する考えについて全ての委員から御発言いただきたい。
委員	<p>【意見】</p> <p>新学習指導要領が出され「社会に開かれた教育課程」という考え方が示されたので、その考えが計画のどこに出てくるかこれから見ていきたい。この骨子案のどこかに「よりよい学校教育を通じてよりよい社会をつくる」という理念が入っているか、「主体的・対話的で深い学び」を踏まえたものがどこかに書かれているかという視点で読んでいこうと思った。</p> <p>新学習指導要領が来年小学校から本格実施となるので、そのことをこの中にどのようにいれていくかを考えておくといいのではないか。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>第2期計画と今回の第3期骨子案とでどこがどう変わったのかをお話しいただきたかった。今回、指導要領が大きく変わった。中央では今までの指導要領の作り方を大きく変え、資質・能力を重視した内容になっている。第2期を作ったときと第3期の、これからの五年間では違った学力観がスタートする。そこを踏まえ、計画をどういう風に変えていくのかだと思う。</p>

委員	<p>【意見】</p> <p>基本方針の1～7は前回とやや順番を変えたという説明があったが、初めてこの計画を見るので、順序を入れ替えた趣旨をお聞かせいただけたらと思う。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>新しい要領が入ったので学校教育の部分は少し変わっていったりするのかなと感じた。生涯学習は今まであまり考えてなかったのを読み込んでいきたい。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>「特別支援教育」の部分に関して、最近、支援の必要なお子さんがたいへん増えているので、これからますます特別支援教育の充実が大切になってくると思っている。どの学校でも対応していけるよう、今後それをどういうふうに進展させていくのかが大きな課題だと思う。</p> <p>「国際理解教育」については、法改正により外国籍の子どもがどの学校でも増えてくると思うので、国際理解教育の一環としての日本語教育の支援が避けられない問題だと思う。国際化に向けて、国籍の違う子どもたちへの理解が今後大きな問題となってくるのではないかな。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>人権教育・道徳教育・特別支援教育とかそれぞれいくつかの柱があって、それぞれに完成しかけているような文言が並んでいるが、それらを横断的に繋いでいく橋を盛り込むことができればと思う。例えば人権教育と特別支援教育、生徒指導というのはそれぞれが一つずつの柱でできているが、決して一つだけでは完結しない。そこへ教科指導、道徳教育もひっくるめたような横断的な何かができたらいいなということここ1、2年考えている。</p> <p>また、計画は用語にもこだわったものにしてほしい。例えば、「確かな学力と規範意識を身に付け」という部分。規範意識は確かに身に付けるものだが、その子の持っている規範意識はその家庭で身に付けられ、我々教育する側はそれを「育んでいく」という意識に立つとしたら、「身に付ける」という言葉がいいのかどうかなど。また教えていただきたい。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>第3期計画が始まる来年度から小学校で新しい教育課程が実施され、翌年度には中学校で、2022年からは高校でと年次進行でいくので、ちょうどこの五年間で小学校から高校までが新しい教育課程に対応していく五年間だと実感している。大学入試の改革もあるが、高校にとって一番大きいのは2022年度から成年年齢が18歳になることだ。今の高校一年生は卒業と同時に成年になる。社会に対応していく人間力が必要となり、主権者教育も大事になってくるし、消費者教育も大事である。そういうことを見通した場合には、「社会に対応していく「人間力」を備えた」という部分に「18歳で成人になる」ということを高校からではなくもっと小さい頃から積み重ねて意識づけていくのだという視点を加えていただければと思う。</p>

委員	<p>【意見】</p> <p>幼稚園の場合、幼児教育の無償化などがあり、今年度も待機児童多く出ているという話をうかがっている。幼稚園での受け皿の問題等が今後出てくるのではないかと思うので、ぜひ三歳児保育に力をいれていただけたらと思う。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>給食の項目を見てみると課題には例えば「食品ロスの減少を図るよう」とあるが、今後の取組にはその文言とかもなく具体的に示されたものもないので、県の「学校給食活用事業推進検討委員会」で示された先進的な取組なども参考に市でも同じような取組ができれば、子どもたちのため、食育のために非常にいいのかなと思う。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>高校は、大学入試改革であったり学区制の改革であったり、保護者の目から見ても目に見えて大きな変化のときを迎えているのではないかと思っている。市立高校を選ぶ子どもたちは成績によって振り分けられてきたのではなく、勉強がしたいからとか部活動と勉強を両立させたいからとか、希望して市立高校に来ている子がとても多いと感じる。そういう市立高校の魅力をこの計画にも反映させて、これからも市立高校を魅力ある学校にしていけたらうれしいと思う。</p>
委員 事務局	<p>【意見】</p> <p>高齢者は消費者問題の被害にたくさん遭っている。交通事故も多い。徳島市における高齢者は7万人を超えている。国からの生涯学習の一環として高齢者に対する教育を充実させてもらえたらと思う。人口の28パーセントいる高齢者はこれからもどんどん増えていくが、問題がいろいろと起きている。このほか高齢者虐待という問題も起きている。人権問題も含めて生涯学習をもう少し充実させてもらいたいと思う。</p> <p>【質問】</p> <p>徳島市は国・徳島県に比べて計画期間が2年遅れているのはなぜか。</p> <p>【回答】</p> <p>まず初めに国が教育振興基本計画を作り、これを受けて徳島県も同じく平成20年度から平成24年度までを対象とした第1期計画を作ったが、この期間は国に合わせて対象期間を遡った形で作られており、実際には平成21年度からスタートしている。徳島市は徳島県の計画策定を受けて、翌平成22年度からの5年間を対象とした計画を作り、以後、5年ごとに計画を作るということで今日に至っている。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>人権教育・啓発のところは第2期とあまり変わっていない。人権教育も</p>

	<p>課題としては新しいものがどんどんと表に出てきている。全部拾い出すのは非常に難しいと思うが、そういうニュアンスがあればいいのではないか。五年間で何も効果がなかったということはないと思う。効果があって、その効果をさらに深めたり充実させたりしていくというのが人権教育・啓発の重要なところだと思うので、その辺が少し足りないのかなと思う。</p> <p>もう一つは、人権問題の世代別の理解に格差があるということだ。学校では中堅の先生が少なく、50代の先生と比べると20代・30代の先生は人権問題への理解がまだまだ十分でない。それを教えていけないといけない、子どもたちにも伝えていけないといけなくなると、「校内研修の充実」にはもう少し具体的な方法が示されるといい。効果的な校内研修が実施され、それが今後の五年間で活かされていくようになればと思う。</p> <p>一方で、社会教育での取組に関する記述が少ないように思う。住民を巻き込んだ取組、学校教育と住民と連携をしたとか、地区公民館と連携をしたとか、そういうことをやっていると思うので、そういうところを盛り込んでいけばいいのかなと思った。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>若い方には学力より社会に適応して生きていく力とか、自分にとっても相手にとっても好ましい人間関係を築く力が大事だと思う。学力が高くても学校に行けなくなるという子も少なくない。最近の事件を見ても、高学歴の人でも教育熱心な家庭で育ってもやはり大きな事件が起こっている。この基本方針の1番に「生きる力をはぐくむ学校教育の推進」というのが挙げられているのは非常にいいことだが、あとはそれを具体的にどう進めていくかが課題だと思う。</p>
委員	<p>【意見】</p> <p>1ページに「2030年以降の社会像を展望した上で」という文章が入っているが、全体を通して見ても、今のトレンドであるSDGsという言葉が入ってない。国連が「こういう世界をみんなで目指しましょう」と提唱していて、日本全体、世界全体がそういう方向にいきましょうという言葉なので、そういう言葉をきちんと徳島市の計画にも入れたほうがいいのではないかなと思う。</p> <p>また、個人的には、もう少し外部の人材が学校に入りやすい仕組みを作っただけならと思っている。食育、ICT等いろんな分野があると思うが、どういうふうに学校に関わっていいか外部の人材は分からないことが多い。徳島市民で、学校に対してボランティアでもいいからいろんなことやりたいという熱意がある人たちは私の周りにもたくさんいるが、どこに相談窓口があるのかが分からないというのが現状で、そういう外部人材の登用について項目があってもいいのかなと思う。</p>

会長	<p>【まとめ】</p> <p>第2期と第3期では時代そのものが随分変わっていったということ、これからの五年間がまたこういう風にかわるだろうということと、学習指導要領が大きく変わってこれから教育そのものが変わっていくということ等がまとめになるかと思うので、これらを勘案したうえで今後の計画策定に活かしてもらいたいということを事務局と策定委員会にしておくこととする。</p>
会長	議題3「その他」
事務局	今後のスケジュールについて説明
閉会	午後4時10分